

No.1839

第1840回例会

2019年2月15日(金)12:30~13:30

点鐘

ロータリーソング “それでこそロータリー”

会食 (洋食)

会長会務

* ビジター紹介。

* “スピーチ”は例えば“新鮮なネタを提供する料理店”のようなもので、自分の言葉でしゃべって、そして常に人の話を聞く習慣をつけることもまた大切な要素だそうです。

私は、この会長会務の中で人を引きつけてうまく着地するしゃべり方を少しでも身につけたいと思っています。年度終了の6月頃には少しは上達するのではと思っていますが・・・

ところである有名なホセ・ムヒカ大統領が、あるスピーチで“貧乏な人というのはお金や物を少ししか持っていない人ではなく、無限の欲があっても決して満足しない人である”と、そして“人は発展するためにこの世に生を受けたのではなく、幸せになるためにこの地球にきたのだ”という感動的なスピーチをされたそうです。私が同じことをしゃべったとしても誰も感動されないと思います。

その人自身の経験や生き方が体現されてこそ心打つ話として相手に伝わるのだと思います。

私はスピーチで人を感動させるのは無理なので、せめてロータリークラブの中では“聴き上手”になれたらと思っています。

* 2月の創業祝いを差し上げます。

市場康稔 大野憲一 森 雅道の各会員

* 2月の皆勤賞を差し上げます。

瀧本浩志会員 1年

幹事報告

* 次週は東部5RC合同夜間例会となります。

18:30~鶴の間、昼間の例会はありません。

* 例会後、クラブ奉仕委員長会議を開催します。

委員会報告

* 親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

卓話「ロータリー雑感」

会員 吉田 博 さん

先週(第1839回例会)の記録

2019年2月8日(金)12:30~13:30

会長会務

* 私が子どもの頃、八頭町にある実家の近くの野山でよく見ていた、蛍、蠅螂、鬼蜻蛉、岩魚、狐などを見かけなくなりました。

地球温暖化による異常気象も大きな原因だと思われませんが、現在、絶滅の恐れがある野生動物のレッドリストには、手長猿、レッサーパンダ、ベンガルトラなどなど16,000種類のおよぶ生物が挙げられており、何か不安を感じます。

最近また、夫婦でウォーキングを再開しました。今の季節にはその途中で、鴨の親子が泳ぎ、春には無数の蝙蝠が虫を追って飛び回るのを見かけ、少し安心するところではありますが、私の72kgの体重には、まったく効果は見られないようです。

幹事報告

* ロータリーの友事務所より次年度「ロータリー手帳」の案内。1部600円(税別)。

* 理事会報告

- 1) 新入会員候補者1名を承認。
- 2) 合同例会全員登録。(欠席でも徴収)
- 3) 5月17日例会の会場を「花のれん本店」に変更。
- 4) 新入会員の名簿用追加シール作成承認。
- 5) 例会遅刻者の席確保の件を承認し、その対応はSAAに一任する。

* 新入会員候補者1名を公示。異議は1週間以内に幹事まで申し出ること。

* IM登録料8,000円を次週集金(全員登録)。

* 事務局: 2月22日午前中休み、25日有休。

* クラブ奉仕委員長会議は次週に変更。

嶋田耕一ガバナー補佐より

「第1・第2グループ合同IM」

テーマ「ロータリーに生きる」

2019年4月6日(土)12:30~

ホテルニューオータニ鳥取へのご参加のお誘い。

出席率

2月 8日 会員56名 欠席9名 83.64%

1月25日 メーキャップ 6名 81.82%

ビジター 嶋田耕一ガバナー補佐（鳥取RC）

メーキャップ会員

1月30日 大野憲一会員 津山西RCへ

2月 4日 山下朋宏会員 鳥取中央RCへ

2月 5日 大野憲一会員 倉吉RCへ

スマイル

*嶋田耕一ガバナー補佐／今日はお世話になります。IMのお誘いです。

*木原一志会長／①嶋田ガバナー補佐、本日は有難うございます。②鳥取大学の長尾准教授、沖コーディネーターには、本日はお世話になります。

*坂本 直幹事／長尾先生、沖先生、本日はようこそお出で頂きました。

*小林 一会員／本日の卓話は、鳥取大学の長尾、沖両先生にお世話になります。

*伊木恭憲会員／長尾先生、卓話で大変お世話になります。本日の内容は私も微力ながら関わりがあり大変楽しみにしています。

*幡 碩之会員／児島さん、ありがとうございました。

*平野敏和会員／鳥取ビルコン山下社長様、昨日はありがとうございました。

*廣谷全宣会員／山根さん、写真をありがとうございました。

*生馬美津雄会員／来週でなんと77歳になります。ビックリです。（誕生日）

*倭島昭博会員／初めて62歳になりました！（誕生日）

*山田光成会員／お世話になります。早く4歳になりたいです。（誕生日）

*麻木宏栄、市場康稔、内山 輝 各会員／誕生日合計29,000円

社会奉仕委員会 麻木委員長

「砂丘一斉清掃」の案内 来る4月14日(日)

アリドーム集合、開始式9:15~10:30終了(予備日4月21日)

卓話「大学生の地元就職促進の取り組み」

鳥取大学教育支援国際交流推進機構

准教授 長尾 博暢 氏

鳥取大学地域価値創造研究教育機構

シニアコーディネーター 沖 正広 氏

全学的キャリアガイダンス（社会的・職業的自立への指導）と「とっとりインターンシップ」を中心として、キャリアセンターの長尾氏から、その能力を教育課程と厚生補導により培うための就職支援体制を前段としてお聞きしました。

学士課程教育の中に「キャリア入門」そして「高年次キャリア教育科目」が生まれ『卒業後に如何に生きるか』を問い、インターンシップ

(internship/就業体験：インターン)により卒業後の「接点づくり」を行うことで、就職活動の支援・指導を行っています。その支援授業は半期ごとに展開され、県内企業および団体等から講師を招き、キャリア入門から地域就業論をリレー講義で受けます。

そのコンセプトには「地方企業が先入観や固定観念などから、学生から消極的に捉えられ、『働く』『暮らす』を考えるための具体的情報を発していないため、実態に根ざした理解と認識を持つようにすること」を目的として開講されています。

また、文部科学省の事業により中四国の人材ニーズに対応した協働型人材育成事業「地域コラボ」の発足で地域協働型ISも始動し、「金の切れ目が縁の切れ目」とならないよう「鳥取県インターンシップ推進協議会」が一昨年より設立され、昨年「鳥取インターンシップフェスティバル」が開かれ、参加学生数と企業等は増加傾向にあるものの、「数ではなく質を高めていかなくてはいけない」と長尾さんは話します。

そのポイントは、売り手市場にありながら「鳥取への食わず嫌いは以外に少ない」に加え、「一度見てみたい」型ニーズなど、鳥取と企業に対して学生は思うほどマイナスイメージに捉えていないことから、「企業側は、へりくだること無く、事業内容の魅力や鳥取にある会社で働き、暮らすことの良さを伝えることが大切だ」と強調します。



また、これからの課題もありますが、インターンで企業の雰囲気や働く人たちの参み出てくる魅力を学生は欲しているとも話します。

続いて、目的を同じとする鳥取大学COC「地(知)の拠点による地方創生推進事業」についてコーディネーターの沖氏は、大学そして学生と自治体・企業の距離を縮めていくことを目的に、産官学協働で「雇用開拓」「県内高校との高大連携」「地域ニーズの窓口」として、理系・文系の拘り無く「目からウロコ」の体験をインターンでもらえるように努めていますと話されました。

次週例会予定

2019年2月22日(金) 第1841回例会

「東部5RC合同例会」18:30~鶴の間

(編集者 多田 一昭)